

明野小中学校 CAN-DOリスト

	聞くこと	読むこと	話すこと(やりとり)	話すこと(発表)	書くこと
中・第3学年	はっきりと話されれば、90語程度の日常的、社会的な話題について、話の概要や短い説明の要点をとらえることができる。	日常的、社会的な話題について、必要な情報を読み取ったり、まとまりのある英語で書かれた話の概要や短い説明の要点や情報をとらえたりすることができる。 目標とする語数：300～400 (複数パラグラフによる)	簡単な語句や基本的な表現を用いて、日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、即興で伝えたり、相手からの質問に答えたりして、自分の考えやその理由を述べることができる。	簡単な語句や基本的な表現を用いて、日常的な話題について、即興で話したり、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話したりすることができ、社会的な話題について、考えやその理由などを話すことができる。	簡単な語句や文を用いて、日常的、社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書いたり、考えたことや感じたこと、その理由などを書いたりすることができる。 目標とする文の数：8文以上
中・第2学年	はっきりと話されれば、70語程度の日常的、社会的な話題について、話の概要や短い説明の要点を理解することができる。	日常的、社会的な話題について、読み取りの観点を与えられれば、まとまりのある英語で書かれた対話文や説明文の要点や情報をとらえることができる。 目標とする語数：50～100	簡単な語句や基本的な表現を用いて、日常的な話題について、事実や自分の気持ちなどを整理し、コミュニケーションの見通しを立てて相手に分かりやすく述べることができる。	簡単な語句や基本的な表現を用いて、日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話したり、社会的な話題について説明したりすることができる。	簡単な語句や文を用いて、自分が経験したことや、これからの予定、また自分の気持ちや感想を交えて、まとまりのある文章を書くことができる。 目標とする文の数：6～7文
中・第1学年	聞き取りの観点が与えられれば、50語程度の日常的な話題について、話の概要や短い説明の要点を理解することができる。	読み取りの観点が与えられれば、自分の身近な事柄について、まとまりのある英語で書かれた紹介文などの要点や情報をとらえることができる。 目標とする語数：10～25	簡単な語句や基本的な表現を用いて、日常的な話題について、事実や自分の気持ちなどを整理し、コミュニケーションの見通しを立てて述べることができる。	簡単な語句や基本的な表現を用いて、自己紹介や人物紹介などを整理し、まとまりのある内容を発表することができる。	モデル文を参考にすれば、簡単な語句や文を用いて、自分や身近な事柄について整理し、まとまりのある文章を書くことができる。 目標とする文の数：5文
小・第6学年	ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができる。	音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かる。	簡単な語句や基本的な表現を用いて、日常生活に関する身近で簡単な事柄や依頼などについて、自分の考えや気持ちなどを伝えることができ、自分や相手のことなどについて、その場で質問をしたり質問に答えたりして伝え合うことができる。	簡単な語句や基本的な表現を用いて、日常生活に関する身近で簡単な事柄や伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを話すことができる。	自分のことや身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、語順を意識しながら書き写したり、例文を参考に書いたりすることができる。
小・第5学年	ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する簡単な語句や基本的な表現について具体的な情報を聞き取ることができる。	日常生活等において、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現が書かれている看板などを見て意味が分かる。	簡単な語句や基本的な表現を用いて、その場で友達や先生と尋ね合うことができる。	自分のことについて簡単な語句や基本的な表現を用いて自分の考えを伝えることができる。	自分のことについて例文を参考にしながら、音声で十分に慣れ親しんだ語句や基本的な表現を書き写すことができる。また大文字や小文字を活字体で書き写すことができる。